

# 平成24年度 地域産業復旧・復興支援事業（Bタイプ）

## 株式会社ゆめサポート南相馬

## 株式会社ゆめサポート南相馬（福島県）



### 「『南相馬未来産業研究会』販路拡大支援事業」

#### 【事業目的】

現在「南相馬未来産業研究会」会員企業においては、震災、原発事故、円高を要因とする顧客の流出・消失（取引先の撤退・圏外移転、取引関係の解消・転注・分散化等）に直面し、非常に厳しい経営状況となっていることから、今後、経営の安定化のためには、新たな顧客の獲得が不可欠であり、より一層の新分野進出等の販路開拓が必要である。

また、目下、福島県は「医療関連産業復興特区」設定により、従来にも増して医療機器関連分野の振興に注力する状況にある。

以上から、当事業では「南相馬未来産業研究会」会員企業を中心として、特に医療機器関連産業分野での超精密金属加工や高密度実装等といった分野において、高い技術力を有する企業群の販路開拓を支援し、南相馬地域経済の活性化、雇用の維持・拡大に貢献するものとする。

#### 【事業実施状況・成果】

「メディカルクリエーションふくしま2012」出展

会期：11月28日（水）～29日（木）

会場：ビッグパレットふくしま

出展者数：209企業・団体

入場者数：3,759名

##### ◆「南相馬未来産業研究会」出展状況

・参加企業：10社

・小間数：2小間

・スタッフ数：2日間のべ25名

・出展内容（展示品）

電子基板サンプル品、ワイヤー放電加工サンプル品

研削加工サンプル品、ステンレス製品サンプル品 等々

●出展の様子が報道機関の取材を受けたことで、県内外の企業、団体に出品企業の技術、製品を広くアピールすることができた。

●他社の出展内容を情報収集できたことで、自社の技術、製品との比較やより良い展示方法を考える機会となった。

●展示会后、3社で引き合いが出ている（1月末時点）

●県外の医療機器産業系のネットワーク組織と交流が図れたことで、新たな販路開拓先の情報収集を進める環境が構築できた。

●次回も出展を希望する企業が多く、積極的に販路拡大の機会に取り組む必要性を喚起する機会となった。

#### 【今後予想される事業効果】

出展参加企業の技術、製品の紹介、来場企業や出展企業との情報交換や交流を通して、人脈の拡大や新たな知見、市場ニーズの収集が図られたことで、ビジネスマッチの機会が拡大し、今後、医療産業機器分野での顧客獲得（販路開拓）の可能性が高まり、また、同時に製品、技術開発の機会が発生し、新規参入の可能性も高まる。

参加企業の販路拡大や新規参入により、事業が拡大することで、将来、雇用者の拡大や地域企業への波及による地域経済の活性化につながることを期待できる。